平成25年度事務事業評価シート	該当事業（評価対象外事業は基本情報のみ記載）		
	一般事務	公共建設事業	評価対象外事業

事務事業名	生涯研修センター管理運営事業
予算科目	7 款　1 項　5 目
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興
所管課情報	担当課：　商工観光課　電話番号（内線）：　572
記入者情報	所属長：　米湊 誠二　担当責任者：　宮田 哲二
事業の性格	法定事務
実施期間	【開始年度】 平成　18 年度　【開始年度】設定なし
事業の対象	市民及び一般
根拠法令等	伊予市生涯研修センター条例
事業の目的	地場産業の振興に資する人材育成、地域文化活動の場の確保
事業の内容	施設の管理運営、貸し館業務、イベント利用
改善策の具体的取り組み（当初）	必要に応じ、早めの施設補修、定期的なメンテナンスに努め、利用者の利便性向上を図る。
改善策の具体的取り組み	

事業費及び財源内訳					
項　目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	6,237	6,568	2,508	5,755
	人件費	1,199	1,220	650	1,220
	合計	0	7,788	3,158	6,975
人件費内訳	人工数	0.15	0.15	0.08	0.15
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,199	1,220	650	1,220
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	7,436	7,788	3,158	6,975

事業活動の実績（活動指標）					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
施設の利用回数（人）	回（人）	393(10865)	390(12000)	315(9910)	511(14571)

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	6,300	6,200	6,300	6,200	6,300	31,300

成果指標				
成果指標	地場産業振興のための効果的な施設の利用			
指標設定の考え方	効果的な活用方法を検討			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標22年度
目　標	390(12000)	395(12000)	400(13000)	0
実　績	393(10865)	511(14571)	0	0

自己評価				
自己評価（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市民会館の取り壊しに伴い、施設利用者が増加している。本来の使用目的である地場産業の振興に資する人材育成、地域文化活動の場の確保を図りながら、適正な管理運営に努めていく必要がある。 また、経年劣化による修繕箇所が増えてきている。施設・設備の定期的な点検を行い、早め早めの対応に努める。			

一次評価				
一次評価（所属長）	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本年度、市民会館の利用中止（取り壊し）に伴い、施設利用団体が本施設へと移行されており、利用者の増加となっている。ただ、有料による目的外使用の団体の利用もあるために、目的に沿った団体優先利用のあり方など、適正な施設運営に向けた予約の調整を図らなければならない。また、屋外トイレの休日の管理を次年度は地元管理等の調整や協議を行いながら、検討していきたい。			

二次評価	
二次評価（所属部長）	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申	
外部評価 （行政評価委員会）	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	